

「秦野市表丹沢野外活動センター森林遊び場（仮称）整備計画（案）」に対するパブリック・コメント手続きの実施結果について

1 意見募集期間

平成27年2月17日（火）から3月10日（火）まで

2 意見募集の周知方法

市ホームページ、広報はだの3月1日号

3 計画（案）の公表の方法

- (1) ホームページへの掲載
- (2) 公民館、図書館及び駅連絡所における閲覧
- (3) 本庁舎行政情報閲覧コーナーにおける閲覧

4 意見提出の方法

郵送、ファックス、電子メール及び持参の方法による

5 提出された意見の内容及び取扱い等

- (1) 提出された意見書の数 5通
- (2) 提出された意見、提案等の件数 15件

内容分類	件数	意見への対応区分（※）			
		A	B	C	D
安全の管理について	1			1	
設置施設の内容について	2			2	
名称について	1			1	
計画の考え方について	9		4	5	
アンケートの内容について	2	1		1	
合計	15	1	4	10	

※ 対応区分の内容

- A：意見等の趣旨等を整備計画（案）に反映するもの
- B：意見等の趣旨等は方針にすでに反映されているもの。
- C：意見等の趣旨等を、今後の参考とさせていただくもの
- D：内容に関する感想等、その他のもの

秦野市表丹沢野外活動センター森林遊び場（仮称）整備基本計画（案）に係る意見等について

No.	意見・提案内容	回答	反映状況
1	万が一事故が起きた時の対応ももちろんですが、未然に利用者が安心してまた安全に活動できるよう施設や人的対応・諸機関との連携など万全の準備を今後も引き続き宜しく願います。	利用者の安心・安全は最優先課題です。今後の実施計画・運営管理計画を策定するうえで、参考にさせていただきます。	C
2	子どもたちが、主体的に考えて遊ぶことができるエリアの設置を提案します。例えば、木登りができるエリア、またその木から他の木へ、ロープで飛び移る（昔のターザン遊びのようなもの）、あるいはチップが、うず高く積まれた所に高い場所から飛び降りるエリア等々。	遊びの内容については、計画の中でも整備内容を検討してきました。今後の実施計画において参考にさせていただきます。	C
3	要望施設について、野外炊事場が狭すぎます。小学校（130名-4クラス）で利用する場合、現在の倍程度の炊事場が必要になります。	今後の総合計画後期基本計画を策定するうえで参考にさせていただきます。	C
4	子どもの遊び場を広げるプレーリーダーを育成・配置して欲しい。	子ども達の遊びを支えるプレーサポーターについては、人材を確保・育成し、配置するよう計画しています。	B
5	子どもが協力して遊ぶ中で火を使えるようにして欲しい。	火を使用するためには、まず、自然公園法を所管する県との調整と、プレーサポーターの育成が必要となります。子ども達がより楽しく遊べるよう前向きに調整します。	B
6	子ども達が利用しやすい、多くの子どもが使用するために、公共の足の確保、自家用車以外の交通手段をお願いしたい。	交通手段について、計画の中でも課題としています。今後も、関係機関の協力を得ながら検討していきます。	B
7	保育園、幼稚園、小学校、中学校、各種青少年団体等に遊び場の周知広報の徹底・PRをお願いします。	広報・PRについては、計画の中でも課題とし整備方針に入れていきます。今後も、関係機関の協力を得ながら検討していきます。	B
8	名称について、「プレイ・フォレスト」を提案します。	名称については、公募をする予定ですので、参考にさせていただきます	C

9	<p>野外活動センターの活動目的は、「青少年の野外活動や体験学習を通じて、心身の自立と連帯の心を養う」ものだと理解しています。今回、森林遊び場を計画するという事は、現在までのセンターの活動内容で、この目的が充足されていないという理解でよろしいでしょうか？</p> <p>あるいは「更なる充実化を図るための計画」という理由であれば、コストをかけてまで、また自然を削ってまで作るという「スケールメリット」はどのように考えたらよろしいでしょうか？</p>	<p>現在を生きる青少年にとって必要なことは、様々な体験学習によって、自らの感性を磨くことであると考えます。このため、平成19年7月にリニューアルオープンしてからも、利用者の方々から様々な意見をいただけてきました。この地の環境を生かして利用者、研修・宿泊者等が、丹沢の自然に親しみながら、野外活動等を体験してもらうことが必要と認識し、今日の計画を作成しました。コスト等については実施計画策定のなかで検討いきます。</p>	C
10	<p>野外活動センターができたのは平成19年ですが、それから6年が経っています。そこで、“なぜ当初から計画されなかったのか？なぜ今になって計画が持ち上がったのか？”その理由をお教え下さい。</p>	<p>表丹沢野外活動センターの運営する中で、日中の活動場所の不足があると分析し、遊び場の整備を計画をしました。今後とも利用者等の皆様の御意見をいただき、よりよい施設づくりの参考にさせていただきたいと思えます。</p>	C
11	<p>アンケート結果ですが、「整備して欲しいもの」という選択肢の中に、なぜ「いない」という項目がないのでしょうか？</p> <p>次の「どんな遊びが欲しいか」の質問において、「いない」という選択肢が入っていますが、不自然な印象を受けます。そもそも、“整備して欲しい施設があるのか、いないのか。いるとしたら何なのか”という意識を探ることを目的とした質問であれば、「整備して欲しいもの」という質問の段階で、テントサイトや野外炊事場・・・などの他に「いない」を加えるべきだったと思います。</p> <p>それが無いのは、調査の結果を恣意的に用いたいという意図を感じますが、このような聞き方（なぜ「整備して欲しいもの」という質問の段階で「いない」という選択肢を入れなかったのか？）にした理由をお教え下さい。</p>	<p>御意見の「いない」の項目は、整備する施設の内容を聞いたものです。選択肢表記を「遊具はいない」に訂正します。</p>	A
12	<p>「いない」と回答した人は他の選択肢は回答していないはずですから、この22人は外して集計するべきではないでしょうか？なぜグロス集計で構成比を出したのか？なぜこの22人を外さなかったのかをお聞きしたいと思います。</p>	<p>遊び場がほしいと回答した方が、遊びの内容として、「遊具はいない」との回答でしたので算入しています。</p>	C

13	<p>この「森林遊び場」の、年間稼働率の想定数値が全くありません。      即ち、市街地と比べて気候変動があり、また場所的に施設に露が付くなどして使えない状況が少なからず発生すると思いますが、そのような気象条件下での稼働率はどのように考えているのでしょうか？      特に、イニシャルコストおよびランニングコストとの関係での稼働率の妥当性について言及をお願いします。</p>	<p>表丹沢野外活動センターの利用状況から、冬季などは利用が少ないことが、想定されます。全体の利用を含めながら今後の管理運営計画を策定するうえで検討する予定ですので、参考とさせていただきます。</p>	C
14	<p>人的・物的な維持管理コストは新たにどの位発生するのでしょうか？そのあたりのシミュレーションがないようですが、そのコストを発生させてまで作る意味があるかどうかは、この野外センターの趣旨に照らし合わせてみると、ちょっと疑問です。      そこで、人的・物的な維持管理コストのシミュレーション・データがあるならば教えて欲しいと思います。ないならば、シミュレーションしていない理由をお聞きしたいと思います。</p>	<p>整備基本計画ではコストのシミュレーションはしていません。手法等を検討する中で考えますので、ご意見は参考とさせていただきます。</p>	C
15	<p>NPO団体による「自主運営」という意向のようですが、万が一、事故が発生した場合に、責任の所在や割合はどのように考えているのでしょうか？市として、“施設を作る費用は出しますが、その後の管理運営・責任は全てNPOですよ・・・”という解釈でよろしいのでしょうか？      P27でも役割分担が記されていますが、事故が起きた際の責任の所在・割合が不明瞭のような気がします。</p>	<p>まずは、市が直営により管理・運営することを想定しています。将来的にはNPO等の育成・連携をし、プレーサポーターの派遣・企画運営等の委託をする場合も、管理・運営の責任は市にあることもあると考えます。</p>	C